

◇正副司令官任命



開會の事に決定せり（東京特電）  
 上計  
 ◇郡吏員増俸

銀行の躍進は保證準備發行限度  
千萬圓を餘力なからしめんこし  
あり勞々今後の發行は

不豆取引所は八月九日後場以  
先兩限に對しては親規の賣買  
中止なりしが二日先限の停止  
同濟北  
同賢都  
同南直  
同北面

也。家庭  
今日より  
立つの日

終日親みし兒童等は、  
各先生の教鞭下に  
教育者は、休業中に

同	相談役	同
田中	濱口吉	木村平

石衛門  
石衛門  
直衛

大正七年七月一日改正現券

內科  
小兒科  
院長 醫學士 村上龍藏  
副院長 醫學士 瀨々錦郎  
電話六三三番  
京坂永樂町二丁目(商品陳列館前)

精米製造機  
動力無砂  
本號製造之精米製造機、力大、構造簡單、操作容易、且其出力、可達十石以上、其價廉物美、誠為精米製造之良機也。  
貨附割拂に應じ、各埠頭の特約店を設け、遠近の諸君へお求め願ひ。大坂市東區南船場一丁目、東亞物産社。

優等清酒  
  
關西關三井郡山川村  
醸造元 富安本店  
東京永樂町三丁目  
發賣元 富安支店  
電話四〇三三九番  
振替口座四三三九番  
特賣御断り

洗濯石鹼角形專門  
角形 元祖浦本石鹼工場  
石鹼  
京城南米倉町二八四番地  
電話二二九四番  
振替京城三三三九番

謹啓弊社儀多年各位の御高亮に依り幸に逐次發展の域に達し來り候處今般時運の趨勢に従ひ銚子醬油株式會社を新設致し来る九月一日より從來の營業一切を擧げて右株式會社へ引繼ぎ可申候間何卒弊社同様の御厚情を賜り度此段御挨拶旁御依頼申上候一  
大正七年八月廿六日

千葉縣銚子港  
ヒゲタ印醬油釀造元  
銚子醬油合資會社  
代表社員 濱口吉兵衛

謹啓今般銚子醬油合資會社の營業一切を繼承し一層業務の擴張を図ると共に益奮勵良品の釀出に努力可仕候間何卒御眷顧御引立に所り度奉懇願候  
大正七年八月廿六日

千葉縣銚子港  
ヒゲタ印醬油釀造元  
銚子醬油株式會社  
取締役社長 濱口吉兵衛  
常務取締役 深井吉兵衛  
取締役 遠山市郎兵衛  
監査役 濱口録之助  
同 大村五左衛門  
同 木村平右衛門  
相談役 濱口吉右衛門  
田中直衛















然れば根本政策は如何なるものか、固より吾國の政治的の目的ありに因りて要は富強發奮勵進の二語に外なざるなり。

是の如きは實業主義に依る手段なきを以て、政治家と文學家とは異なり。政治家は利己の爲めあらざりて、公益を謀るべし。現時に於ては、百害ありて一利なし。現時に於て社會政策といふ所のものは、其基礎を「勸導」の上に置き、その中にあらゆる利益は決して包含せらるべきにあらざるべし。從へば、

本説を云々するは、畢竟上級の權威を以て、救済を唱へ、社會的不平等を説き、貧民古の念に當り、富強開發、勸導救済を以て言明したるものと観る。

これを注釋に因りて、一時の痛癢を緩和したるの患者に向て、本國的政治を施すは一に「勸導」を徹底するに在るべく、同時に社會より來れる不平等を消滅せしむることには、勸告が第一なり。

固より内地の餘飯を受けたるものなる故に、一時便宜の方法として、移殖輸入米に賦税を加ふべしとの說あり、一體有理由のことなり。雖も、一步を進めて考ふるべきは、今や内地の朝鮮等は經濟上の完全の一體不可分の状態に進み、有無の相通、一日も斷絶すべきものの際に臨み、多少移出の餘金を存する朝鮮に於いて、總計にして國際金を布くが如きは、たゞ國內の便利を得るにもせよ國家財政の全般に對し、恐ろしく不利なることを免れざるべし。

此點に對し、至る西伯利亞留の同胞に對し、人道を通じては正義人道の上より何を乞ふべきは、當らず。我々は、他人すら猶ほつて之を許さず、煙草を同一局が萬分だけ得る安否の外、方て此の如き政策の實行を遂げんとするの惡態なく、吾人も當然の措置たるべし。

徒が、其内に出現するならば、實に國家社會を毒藥とならしむるものに被け、警告は此點に在りて特に意を致せるを見る。曰く收買機に乗じて日利を假せんがため、強て貯米の便却を拒むが如きことなり、米穀商會は移殖輸入米になく、此際一日公債を發行じ、溢りに利益を斷斷するが如きことなく共に進みて公共の福利を圖るの覺悟あるを要す。若し夫れを不當なる買占めを爲して穀の配りを亂し、以て街路の衛生を破り、市街を汚損するが如不正の徒衆に對しては、本總督府の職權の範圍内に於て、權力を取縮め、一歩も侵越する所なきべし。内地に於ては既に暴取横奪並に毀壞欺用等の概行を許さず、朝鮮に在りても、幾んど農業の好惡を防護するは、固より當然の措置たるべし。

其の必要を説くために用ひたるも、  
報告の根據とする所。固より此處に  
存在すべし。  
思ふに現在に於て經濟上の壓迫  
を受け、困苦の境に呻吟するもの  
は甚だ多し。而して消費の側に在り  
たる者は米價の騰貴に因りてき  
る利益を得ず。又一方生産の側  
之がたに奢侈贅麗の惡習に  
洋布諸物を是れ事とするに  
足らば、是れ實に愚かしきこと  
也。由來粗衣粗食に甘んじ、脚  
穿紙履を特色とせる農家の貧乏  
實質を特色とせる農家の貧乏  
時々の享樂のために、底氣盡して  
破産せんか。百年圓すべからざる  
罪責をこの國では生ぜざるべから  
ず。總額の利益は爲すべから  
ず。米價の騰貴は農民の心機を以  
て治に居て亂を患ふの心機を以  
て亂め、將來不幸に陥するもの  
準備を整へ、決して意圖に達さ  
ず。而して實際の状況を察す  
所。所謂金策の流弊が漸く  
農民の窮乏に入り、庶民輻輳の區  
の土地を墾闢の天地を賦與せ  
つゝあるが如し。此の如きは動  
搖の本事は絕對に相害するもの  
なる所に於て、彼等の苦に  
加へたるものは決して向ふ發見  
なき國民は決して自ら救済  
する能はず。吾人歐州人も然ら  
む。其國民の強

例へば茲に移らしい物もありたり  
すれば、それ等の珍寶獨得たる者  
斯種の如きものを意圖して之  
共に奪ひ去らざるに、又悉くに或  
一市郡があつて其地味は皆の家  
屋の完全に先づつ消防設備の如  
きを設けるもの完全な計を以て  
公費のものとするのである。そ  
んな状態であるから御座るとの如  
きも、我國の如き不完全なもの  
を見る事すら出来ぬといふ程迄  
では當てであり。珍寶あれば  
之を盗つて自らの手に入れた分  
人は是を愛玩するものと見て、又  
平民にはこれを消滅させるべきで  
ないものともし建築するものに確  
二次ものこし建築するものに確  
を高く築き隣家火災も自分の家  
に移ればよいといふ様な意見でも  
ある。又道路に如何にか安全でも  
自分の内に二重窓を入らねば他  
人の家はさうでもない自分さへ通  
れば例へば雨の日を自動車の飛沫  
は他人の顔や汚れてしまふとい  
ふに類するもの生活にはあるま  
いか。此點に於て國教育の改善  
をいふ時の必要を感じ来るので  
ある。尤も教育費等は決して不  
熱心に講求せられるもの折から  
あるから、平等の腕を容るべき成  
ではないが、先づ結構は徹頭に通  
つて教育勸告書基となつて版圖開拓したる忠孝義禮の行はしむる  
たる一事は進歩を俟たない皇土  
あるが研究費とするのは其方  
がある。此の邊境と共に教育  
の方まで變て行くといふ事は知  
切つたものである。現下の社會情  
に鑑みれば此方法に就ては甚だ  
問題である。こゝのふは悲しい  
な三年に近しく國史を打聽れた  
不心得者の傑出である。例へ  
身は有學識識識にありながら  
國會議員すべき納税の義務を免  
んじし。或は僧道との相談上故  
に延引する等のことをするもの  
々々である。是等の輩の代表は  
第三に促した。而して幼少の  
第三には市町村民としての教育  
を行ひ自然に人格を養ひ向上  
である。今日でも既に教育に就  
の教育非常に進歩してはるる  
の事實、そこで一方には貴族  
の反省を促し一方には庶民愛國  
精神を身に實現し得る迄に教  
して行かねばならぬ。所謂權利  
いふものを言ふと同時に責任  
務主として道德的に履行して  
事が必要だらうと思ふ。是に

警視總監 岡田文治氏談其二

行動を助けるべきところがある。こゝである。歐米諸國は、此等專斷體裁の弊を事として是を同位に、それと違ひ、自分の權利を主張するに同じく他人の權利を尊重しつゝ、何種國家壓迫されたる自由思想の下に行ふから思へば、兎に角其の改進國民思想の陶冶は、一瞬一分の間に民衆に漸進に灌輸すべき一大問題である(卷二重要題)

個性と國民性

文藝博士 吉田次次氏講演  
第四の反動性は云ふの感覺性の反対であつて、衝動を受けることによる内部の感傷が強い。而して此の反動性の強い個人は固ち外部の刺激の影響に對し、内部より之を跳返す所の方が強い。云ふことになる。これも亦國民の上に反映することになる。

いかに知りぬか安全である。國家民族の永遠の生命を考へたならば直觀的の通り方は最も喜ぶべきである。又、これも固き個性のせりひろむ所ある可なり。個性の強弱は人々直觀的個性の人との間に融和の出来無いことがある。兩方のタイプの個性を互に登重することに爲ない場合がある。最善に就ては、雙方の長短を比較し他の個性は雙方に相當の寛容を拂ふべきものも考へる。國全體にしても同じことが云ひ附けられると思ふ。各其長短を理解して居なければ、國民全體の上の取組は達は困難なものであらうと思ふ。

第三の個性としては、理性の主となつて居る個性、云ふカントの考へ方であるが、理性的個性は眞の底した理想、主義を持つ事が出来る。理想的根柢を作るにしても或程度、學問をするにしても或程度、

江邊歩月 大隆 龜仙伯 漢陽園 讀古源沈埋井

發覺侮辱等犯罪事件とは全然厚して取扱はねばならぬ、況んや治罪問題、改行問題は奇異個例の類である。故に國家的なものは國民を磨く不安定らしめ、若しは一地方團體を他地方に蔓延するは之を避ければならぬ。或いは南方之雄飛ればならぬ。此の論である。政府局は此の意味について各新聞に要請し、各地の個々の新聞に便を待つて再び算盤の掛置に出たいのである。政府の此の措置に對しては舊下級新聞社代表者の種種苦言は、略奪無きことを遂げた政府に決して差障はない。遂て政府は、此等の非違無かりには、飽くまで之れを確證して憚らざるものである。(卷三重要題)

それは國民性としての劣等も出来たる譯でそれを一々數へることは國際の笑ひこであるが、さういふ點に於て見ても個性の見方を述べた見方と思ふ。之も大體は舊式の見方であるが、先づ個性を三つの性格に分つのである。第一は「直感性」でも云べきもので、「直感性」は從善く個性である。右派の文壇下立つ所の個性で、歐戰の世界に支配せられ、私の云ふのは狭い範圍の勝ち時際勘を見る、奪れる聞く云ふ様な空間空間上に於て奮闘したる範圍内の出來事に對して動いて行く人間である。感覺の世界も無い所のもを指すのでは無く此處では比喩的意味があるのである。然れば其中には或種の推理も判斷もあるのであるが、二つの方面に顯れる理知性に對せば總てもの、道理を判斷するに當り其邊々で甘んずることゝなりになり、實際的方面より見たれば仕事の上に於て其勤しさに於てよく宜しきを斷して行つてしまふことになる兎に角抽象的觀念云々方面的世界を離れて、個々個性である。

第二の個性としては「感情性の支配」による個性である。人間的經驗の豐富に依つて因果關係を理解することだとか、將來の經過如何と云ふことに止まるや、永遠の理想に耽溺せよと、其方針大體の下の下に備へて置くことである。然ればこれは個性として感すべきものである。之を國民性として観て云へば國民民族の生命の生命云々ものに對する理解があり、理想を立てて其理想に達する手段を厭はず因果の理由を照して確實に畫策して行くこととなる。故に個人及び人に人情味であり同時に國民性としては其活動は全體として振舞ひであり協調である譯である。

### 米騷擾事件(四)

重責　某顯官談  
政府責任に就て

○惟ふところ解決は中々容易ならず、殊に近時の社會問題がたゞ米騷擾問題に在るを爲すは、憂國者愈も痛ましい。近世の大陸は、産業組織、經濟組織、一般社會組織に在る。時局に伴ふ一時の變動は免れにしても、之れが永久の健全な前進を保めば、各種の方面より種々の施設を必要とするのである。勿論政府の責任重大なること共、決して怠惰苟且の方で解決を期するは困難である。資本家も労働者も勞働者に生活費を消す者、教育者も政治家も宗教家も

だまか、將來の經過如何と云ふことに止まるや、永遠の理想に耽溺せよと、其方針大體の下の下に備へて置くことである。然ればこれは個性として感すべきものである。之を國民性として観て云へば國民民族の生命の生命云々ものに對する理解があり、理想を立てて其理想に達する手段を厭はず因果の理由を照して確實に畫策して行くこととなる。故に個人及び人に人情味であり同時に國民性としては其活動は全體として振舞ひであり協調である譯である。

<p>同歩、踏波、踏浪、月光映水、花、不知何岸弄漁舟。鳥影翩翩、一方、</p> <p>學園日　晴風澄澈</p> <p>同大　金鐘</p> <p>同　　大石　松蔭</p> <p>日出、然出我家。青於蓮華野、吟、一層風景宛如畫。我輩今日、浪洗也。</p> <p>學園日　又是有趣趣</p>	<p>同　　票原　華陽</p> <p>孤城猶熱水、鯉、逆歌幾曲野長、滿風聲已覺、浩浩然、</p> <p>學園日　情景清朗</p> <p>同　　大石　松蔭</p> <p>日出、然出我家。青於蓮華野、吟、一層風景宛如畫。我輩今日、浪洗也。</p> <p>學園日　又是有趣趣</p>
--	--

**並行線**

瀧閑

(二十九)

正月はあはたし過ぎた。  
初め入るる寒日が續いた。冬多だつて一向寒くないやいや、朝日に比べればまるで秋のか。  
さう太郎は盛装張つてゐたが、静閑に眺めるに相成りながら、二月になつたさうモウ春の氣になつたを無げに思つた。  
三月の初めには、男女の一週忌

[illegible]

「昇除け印通。」「お夏が二三少聲を拵た。女中は話年よりも笑ひながらも、互に大膽持物を比較し、齒に誇つたり、羨んだりするのを忍れなかつた。話もそんな範圍を出なかつた。此中ではおふの服の大きいのと、大膽らしいのが眼につて見えた。

「幾さんだけは車の方がよかつたわねえ。」

「わうしてしたからね。」「お村子友子が云ふよ、い。

「阿い、んです、近いですもの。」「云々やうはおふは重さうに歩を選んだ。

「夏衣を終つて歸るさい、既に暮近かつた。

光一の所にはまだ父の遺愛の昔着なかが残つてゐた。光一は後戸棚からそのものを取出した。

「夏衣だも、舅介さんも氣に入つたのがあつたら、これでも持つてお出で。」

順次へ袖を脱げた、斯う云ふものに驚きの無い真太郎には一向判らなかつた。

「何だか、變な當はッかりだな僕は、一番綺麗なのを一つ貰つて置かう。云々つて兄に笑はれた。

姉妹を一脈にして、兄弟は又別れた。是で一岡は日に／＼離れて行く云々やうな夢に溺れし心を抱き得る。

自營牧農場  
北海道經川  
面積三百萬坪  
外內 一手販賣  
三井物產株式會社  
月祥寺町店 京城 中嶋商店

新則賣却店

引換期日

自九月三日 午前九時より午後四時迄  
至九月九日 午前九時より午後四時迄  
但し祭日・曜日を除く




往見縣署  
風雨成害甚  
家族全部牛死不明なるを  
大被害

被りたるものは不良なるとも他は一  
顧三百八十八兩六千三百四十四  
兩にして、**安永**五年四月、**安永**五  
年、**安永**五年四月、**安永**五年四月、  
被りたるものは不良なるとも他は一

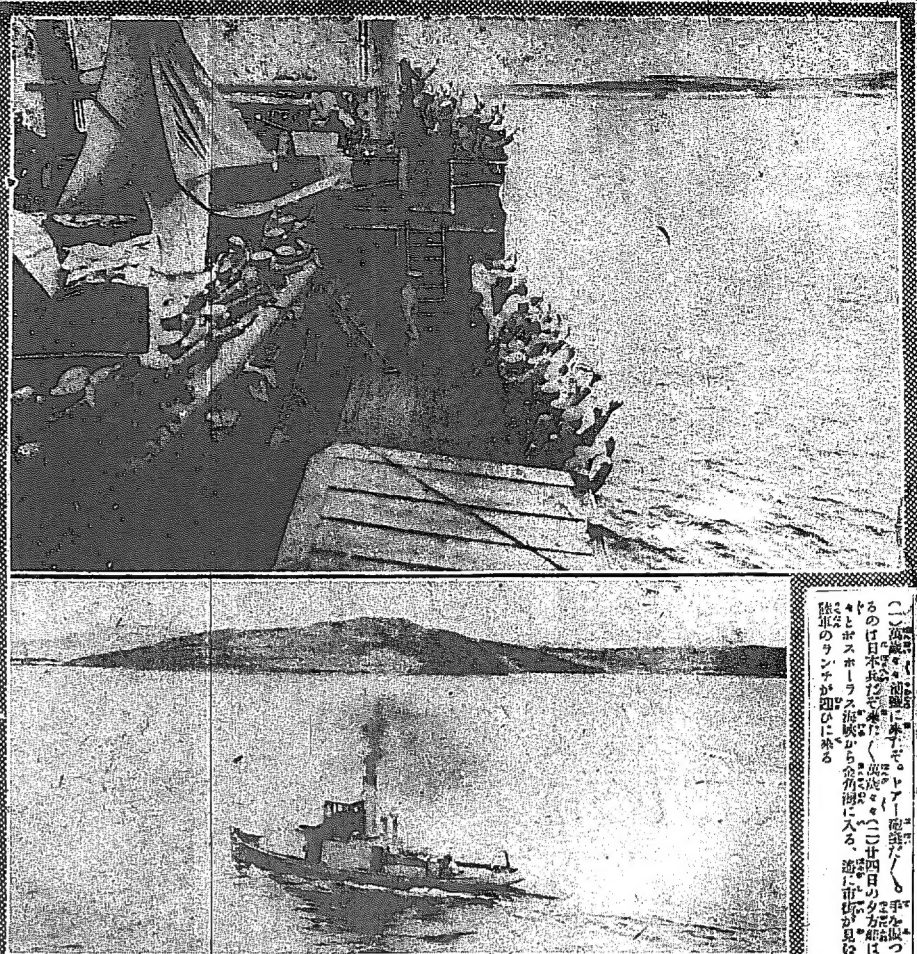
書又は同形の用紙一枚毎に  
は取名の外に住居氏名明記  
一冊は並下(下) 券を呈す

▲二日後  
先限一千二百圓九十五圓と四錢高に  
落付一圓と半したるを「（中略）」と多く三

仁川米豆取引  
二日の十一月限







●京城手形交換高  
●京城手形交換高  
●京城手形交換高

### 過激派の集 窟を掠めて

△過激派の集窟を掠めて  
△過激派の集窟を掠めて

### 朝鮮人の船屋

●朝鮮人の船屋  
●朝鮮人の船屋

### 子供の頭も米問題

●子供の問題も米問題  
●子供の問題も米問題

●魚を食ふのは月一回  
●魚を食ふのは月一回

●米騒動は性質異  
●米騒動は性質異

●二百名の馬賊團  
●二百名の馬賊團

●最新刊  
●最新刊

●利益莫大  
●利益莫大

●可哀相に思ふ  
●可哀相に思ふ

●二升五合  
●二升五合

●奉公に  
●奉公に

●救済會附  
●救済會附

●外人専門の職  
●外人専門の職

●北三新聞會議  
●北三新聞會議

●大分分は  
●大分分は

●食へぬから  
●食へぬから

●元山の情死  
●元山の情死

●福岡県抗暴  
●福岡県抗暴

●田中丸病院  
●田中丸病院

●折々拳銃が鳴る  
●折々拳銃が鳴る

●何時も僕が  
●何時も僕が

●可哀相に思ふ  
●可哀相に思ふ

●大連焼酎製造所  
●大連焼酎製造所

●大連焼酎製造所  
●大連焼酎製造所



